

★認定調査員のための情報通信★あなたの力になりたいくて…

# あかべえ通信 2013.12.12発行 Aizuwakamatsu city

みなさん、こんにちは！師走の忙しい時期になりました。調査員のみなさんは、一人で何足ものわらじを履いている方ばかりですから時間がいくらあっても足りない!!と悲鳴が聞こえてきそうです。そんな時には、家事の時短テクニック!と思うのですが…みなさんは何かこれぞと言うテクニックをお持ちですか?私の友人(♂)は「家に帰ったらまず5分間整理整頓をする。毎日違うところを綺麗にすると散らからない。」と話していましたが、そんな人には時短テクニックは必要ないんでしょうね。見習おうにも私は3日坊主に終わってしまいます(^\_^)

## ◎5回目の内容は…「日常使っている言葉の意味と認定調査での言葉の意味について考えてみる【第1回】3-8 徘徊」

今回は、今までと少し視点を変えて考えてみました。認定調査のお問合せを頂く際に、調査員の皆さんが感じる違和感はどこからくるのか、その違和感が調査の判断を迷わせているのではないかと…その違和感を整理することによって、調査の判断に迷いが少なくなって、選択肢の選択にバラつきがなくなるのではないかと!という考えに至ったため、認定調査での言葉の意味を再確認することにしました。認定調査での言葉の意味はテキストに隠れています。まるで学生時代の国語の読解力を試されているみたいですね(^\_^)めげずに読み解いていきましょう。

### Q 徘徊っていろいろありますよね?

「夕方になると、施設内をウロウロ歩いている。」ウロウロしているから「3-8徘徊」の選択は「(3) ある」を選択?確かに、日常生活の中でこのような状況があったら、「徘徊」と考えがちですが、認定調査で言う『徘徊』なのかどうか確認する必要があります。

### ① 介護者が言う「徘徊」について整理してみましょう。

「徘徊しています。」と介護者から聞き取ったら、「どのような状況ですか?」「本人は何か目的があって動き回っているのですか?」と確認していると思います。

例えば・・・認知症の場合で考えてみましょう。

(1) 誤認の状況…「自分の部屋を探しているうちに何をしているかわからなくなってウロウロします。」「帰り道を探したり出口を探して迷子になって、部屋に戻れなくなります。」「(3-9 外出するともどれない」の項目で評価できる)

(2) 焦燥の状況…「(定年したのに)昔の職場に行こうとして朝になると出かけようとしてします。」「(主婦だった方が)夕方になると買い物に出かけようとしてします。」など焦りの気持ちが伴い今すぐいかなければとの強い思い込みで出かけようとしてします。(「4-8 落ち着きなし」や「4-9 外に出たがる」の項目で評価できる)

(3) 意識変容の状況…「もうろうとした状態で歩き回ります。」「日中でも軽い意識障害が起きて、はっきり目覚めていない状態で歩き回ります。幻覚や妄想を伴うことが多いです。(幻覚や妄想から作話に繋がるようであれば「4-2 作話」の項目で評価できる)

(4) 無目的常同の状況…「特に目的は分からないけれど家の中を常に行ったり来たり、座ったり立ったり繰り返します。」「(認知症が重度になった徘徊の最終段階の状況)

### ② テキストの中でいう「徘徊」とは何か

3-8 定義の確認→裏面

認定調査の中でいう「徘徊」とは**目的もなく動き回ること**とテキストに記載してありますので、介護者が言う「徘徊」全てを指しているわけではなく、①で整理した「徘徊」のなかでも(4)の状況を「徘徊」と認定調査では定義しているわけです。(3)の中でもはっきりした目的がわからなければ認定調査のなかでの「徘徊」に当てはまると考えられます。

### A 認定調査でいう「徘徊」のことばの意味は、日常とちょっと違う。

①で整理したとおり、動き回っている状態を「徘徊」と表現する人がいますが、目的があって動き回っているのであれば「ない」を選択してください。動き回っている状況がある時は、「ある」「なし」の判断根拠、介護の手間や頻度の特記してください。「テキストで定義している言葉の意味」≠「日常使っている言葉の意味」で、同じ意味ではありませんので注意してください。

裏面に続く →

## 定義の再確認！

3-8 徘徊（有無）

テキスト P.110~P.111

### 【調査項目の定義】

「徘徊」の頻度を評価する項目である。

ここでいう「徘徊」とは、歩き回る、車いすで動き回る、床やベッドの上で這い回る等、目的もなく動き回る行動のことである。

## 調査上の留意点！

### 調査上の留意点及び特記事項の記載例

重度の寝たきり状態であっても、ベッド上で這い回るなど、目的もなく動き回る行動も含む。

## Point！

認定調査上の言葉の違和感について、少しご理解いただけただけでしょうか？

「徘徊」は「目的もなく動き回ること以外は選択できない」と考えれば判断しやすいですね。

他の項目でも、日常使っている言葉の意味のままだと選択を間違いかねない項目がいくつかあります。定義を拡大解釈せずに、テキストの定義に沿って判断することが重要になります。

選択に迷ったらテキストにもどる！拡大解釈しない！これが判断に迷わないポイントです。

◆◆e-ラーニングシステムでの「全国テスト4」実施中です！◆◆  
みなさん奮ってお受験してくださいp(^-^)q

発行元：会津若松市役所高齢福祉課介護保険給付グループ 担当：木下&梅津

TEL0242-39-1242 FAX0242-39-1431

会津若松市役所 HP <http://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/>

⇒介護保険⇒要介護認定⇒認定調査員のための情報通信

